

100号発行にあたって

Hokuriku PC Pressも発行100号となります。1996年3月1日に創刊し4年で100号ですから、1998年8月に1回だけの発行になっただけで月2回の発行を良く続けてきたものです。その間にいろいろコンピュータの世界もあったものです。パソコンは80486という番号であったものがPentiumとなり、現在はPentiumⅢで1GHzというように想像できないほど性能がアップしています。ごく普通に使うのなら十分以上で、ソフトによってはスピードを落として使いたいほどです。そのあたりの特集については、個人のホームページに特集記事だけが掲載してありますので参照してみてください。100号を迎え、2000年となり来年は21世紀です。区切りとしての考えを、今年正月にも書いたような気がします。また書いてみます。

今年正月にも書きましたが、これからのキーワードは「パソコンの消滅」のような気がします。だいぶ前から情報家電が話題となっていました。パソコンが家庭に入り始めてだいぶ経ちますが、現状では家電品というわけにはいかないでしょう。価格は家電品よりも高いのに、新しいものが次々と出てきてはすべての目がそれに向いてしまう。2年も同じパソコンを使っていれば古い機械で使い物にならないといわれてしまいます。それでは家電品とはいえないでしょう。確かに他の家電品も次々と新しいものが出てきますが、1度買ってしまえば不都合でない限り余り何度も買いかえるものではありません。インターネットの見えるテレビ、冷蔵庫、電子レンジなどありました(?)が、初めはこの程度のスピードかと納得していても他のパソコンが速くなれば使われなくなるものでしょう。

ではその中で「パソコンの消滅」とはどういうことか。それは、情報家電としてパソコンは存在しないということで、情報家電はパソコンの形態ではないということです。実際に家庭でパソコンを何に使っているか。インターネット、ワープロ、ゲーム大体そんなところ。そういえばワープロ専用機は家電に近いものかもしれません。それは、ワープロを買うと5年、10年は使うもので、周りと比較してワープロが遅くなったと考えることはあまりなく、使いたなくなったものは機能として不満が無ければ使いつづけるものだからです。これだけパソコンの性能が上がっても日本ではワープロ専用機が売られています。確かに機能が限定され、価格も安いこともその要因なのかもしれませんが、ワープロ専用機はやはりワープロ専用機なのです。ワープロでインターネットの電子メールをやる人もいますが、ワープロ専用だからこそワープロするには使いやすくなっているのです(一般家庭では年賀状の印刷が主なものかもしれませんが)。

情報家電として何が必要なのか。それはインターネット接続機能でしょうか。DVD画像再生機能でしょうか。電子メールでしょうか。1度入れればなかなか買い換えなくても良いものは何か。答えはなかなか見つからないでしょう。DVD再生ならビデオデッキのような再生専用機でしょうし、電子メールなら携帯電

話で十分です（ちっと極端ですが）。デジカメも売っていますが、画像管理がパソコンでできるといってもやはり印刷したプリントで見るとはいいでしょう。パソコンは何にでも使うことができますが、家庭ではそんなにマルチで使える機械は必要ないのです。今パソコンはインターネット端末として普及しているというのが現実です。誰でもインターネット、インターネットといっているのですから。しかし、テレビのデジタル化によっていろいろな情報がテレビを通して受けられるようになります。そのときインターネットはパソコンでやっているのでしょうか。テレビを見ながら関連情報をインターネットからテレビを通して受けれるのならわざわざパソコンは使わないのではないのでしょうか。関連情報の表示があり画面から選択できるのであれば、いちいちマウスやキーボードを使う必要はありません。テレビのチャンネルを選ぶようなものです。そこまで簡単でなければだれでもが使えるとはいえないでしょう。

ここでインターネットについて考えてみます。確かに私も家でインターネットに接続して使っています。しかし、それは何のために使っているか。それは、これまでであれば雑誌の広告や記事などで入手していたいろいろな情報を、インターネットで検索して探すために使っています。インターネットが話題になり始めたころ「インターネットサーフィン」がやはり言葉になっていました。いろいろなホームページを次々と開きながらいろいろな情報を入手するには「インターネットサーフィン」が有効ということで。しかし、一般家庭でインターネットをどう使っているのでしょうか。旅行へ行くときに観光データを入手する。切符を手配したり、宿の予約をするなどがあるかもしれません。しかし、それにどれだけの人が利用するのでしょうか。実際にインターネットを使おうと思ったとき、何か目的が無ければなかなか使うものではないのではないのでしょうか。時間があるからネットサーフィンして遊ぶということもあるかもしれません。しかし、目的が無ければそれほど続くものではないような気がします。大体は特定のページを見ながらそのリンク先を覗いたりするもので、いわばテレビのように今日は何か変わっていないか見るようなものになるのではないのでしょうか。あとは、たとえばテレビを見ていて、その関連情報を知りたくなったときに探してみるようなものです。

はっきりいって情報家電としてパソコンは置き場所に困る邪魔なものになるのです。今後家庭が情報強化され、家庭内LANが一般化し、デジタルテレビなどの情報がホームサーバに蓄積され、他の家庭電化製品がそのLANに接続されるようになればそれをコントロールするものが必要になるでしょうがそれはパソコンではないでしょう。同じようにビジネスにおいても何でもできるパソコンはいらなくなるような気がします。業務処理を行うのであれば専用の端末があれば良くなりますし、逆に、端末では個別のアプリケーションをインストールせず、必要なときにサーバのアプリケーションページを開いて仕事をするようになれば、端末は単なるブラウザソフトが使えれば良くなりますので、いろいろなものに見えるパソコンである必要は無くなるのです。

長々と書いてしまいましたが、だいたいの外れかもしれませんが、パソコンだけを見ていてはわからないような気がします。そうそう、次回から内容そのまま名称のみを変更するかも知れません。

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 4月24日号

特集 すべての機器にメモリカード

→メモリスティックやSDメモリカードなどの小型メモリカードが携帯に搭載される。携帯で受けたコンテンツがメモリカードを介してあらゆる機器に流れ込む。

解説 「モジュールが出てこない」Bluetooth機器開発に待ったかかる

→話題先行の近距離無線データ通信技術「Bluetooth」。採用に対して必要な送受信モジュールが出てこない。各メーカー間の思惑もあってか遅れがはっきりした。

○日経パソコン 4月17日号

特集 Office 2000活用テクニック

→ビジネス現場で必須となりつつあるOffice。機能豊富で使いにくいOfficeを効率よく使うテクニック公開。

特集 ギガヘルツ時代に突入したCPU

→PentiumⅢ、Athlonともに動作周波数1GHzを突破した。これまで使えなかった映像、音声のデータが自由に使えるようになって、自分に合ったパソコンを選ぶにはカタログにはない知識が必要となる。

○日経パソコン 5月1日号

特集 PentiumⅢパソコン

→直販メーカーのPentiumⅢのパソコンが安くなっている。動画のMPEGエンコーダの中にはPentiumⅢでなければ動かないものもある。長く使えるパソコンとしてどう選べば良いのか。

特集 使ってみようCD-R/RW

→ドライブやメディアの価格が劇的に下がったCD-R/RW。CD-R/RWを使い始めるなら今がチャンス。基本、活用、購入まで。

○日経バイト 5月号

特集 XMLが情報システムを変える

→究極のデータ表現として期待を集めているXML。XMLは分野毎に共通の規約を定めることによってこれまでつながらなかった異企業間のシステム同士でのデータ交換が可能になる。インターネットでのデータ交換が簡単になる。

特集 最新ウィルス防御術

→巧妙さを増すコンピュータウィルス。最新のウィルス事情と発見対応の最新技術。

評価 無線LANの賢い選び方

→オフィス向けの11Mビット/秒の無線LANが相次いで発売されている。規格は同じで基本性能に差はない。製品選びは価格と付加機能に絞られる。

○ASCII 5月号

特集 初めての自作

→誰にでもできるパソコンの自作。作れば愛着も湧く。初歩から部品選び、完成までの保存版特集。

特集 携帯電話をこう使え!

→パソコンユーザとして携帯電話をどう使うか。実例と携帯電話の選び方。

○ASCII DOS/V 6月号

特集 禁断のオーバークロック徹底理解

→1GHzを迎えたCPU。その中で現在のCPUをオーバークロックする場合の基礎知識と、各コンポーネントに対する影響と対策。

特集 Windows ME&Windows 2000最新OS免許皆伝

→Win98の次に来るWinMEの最新情報とWin2000の使いこなすための情報。

○INTEROP 6月号

特集 スケーラビリティを求められるPCサーバ

→パソコンとは別のところにあるサーバ。CPUの性能向上によって、これまではUNIXサーバの領域であったシステムにもPCサーバがコストパフォーマンス、性能で進出している。現在のサーバの技術動向は。

特集 ネットワーク管理素朴なギモン

→新たにネットワーク管理に携わる人向け、ごく基本的なノウハウから知っていれば便利な知識まで。

○PC STYLE 21 5月号

特集 無線インターネット完全制覇

→家の中でどこにいてもインターネットが使える無線LAN。誰もが使える製品紹介と設定方法まで。

○DOS/V magazine 5月15日号

特集 ギガエイジプロセッサの選択

→1GHzを超えたCPUの時代に突入し、今後どう選択していけば良いのか。各社のロードマップを含めて現状を特集。

特集 最新/高速/超大容量HDDの研究

→いつのまにかHDDの容量が1GBを超え、10GBが普通になっている。極端な低価格化の中で新技術もいろいろ使われている。パフォーマンスの実態と買い時の製品紹介。

特集 DVD最強サラウンド環境を作れ

→DVDビデオにはいろいろな音が入っている。映画の場合各国語の吹き替え音声など6チャンネルの音声は独立したチャンネルとして記録されている。その音声を使って臨場感あふれる立体的な環境を構築するための方法と製品紹介。